

◆釣り教室レポート【ビギナーのための釣り教室】

千葉県鋸南町・安房勝山『萬栄丸』 アジ挑戦！！三石忍さんが9組23人に熱血指導！！

サンスポ推薦船宿会主催の「第9回ビギナーのための釣り教室」が6月2日、千葉県鋸南町・安房勝山『萬栄丸』で開催された。9組23人の家族が電動リールを使ったビシアジ釣りに挑戦。インストラクターの三石忍さんに熱血指導を受けた参加者は、次々にリールのスイッチオン！ 上がってきたのは30センチオーバーの良型ばかり。初夏の海に大歓声が響いた。

出船前、インストラクターが全釣り座に電動リールを設置するところから、今回の教室はスタートした。子供たちは、初めて見る“機械”に目を輝かせる。大人でも初対面の人が……。ここで登場したのが、インストラクターの三石忍さん。リールの操作方法はもちろん、タナ取りやコマセワークといったビシアジ釣りの“キモ”を、熱っぽく指導した。ところが、大きな関門が立ちふさがった。岩崎直一船長が案内した岩井沖の水深60メートル前後は、朝からの風が残りウネリが高い。関係者の協議で、風裏の浅場で収まるのを待つことに。

約30分後、ポイントへ戻った。そして、今度こそ釣り開始。口火を切ったのは尾形真知（まさと）くん。デジタル育ちの子供たちは、電動リールの操作もバッチリ。竿先にアタリが出ると、ためらうことなくスイッチオン。三石さんの前で35センチを抜き上げた。「やった！ おじいちゃんより先に釣ったよ」と、三石さんとハイタッチ。これがきっかけで船中あちこちで竿が曲がる。6歳の廣間心乃（このの）ちゃんの竿もグリーンと引き込まれた。インストラクターがフォローに回る。そして、32センチ前後の一荷という“快挙”を演じた。「大好きなお魚がいっぱい釣れてうれしい。帰ったらママと一緒に料理するの」。跳ねるアジを、両手で重そうに持ち上げた。

すごかったのは納竿直前の流し。30センチオーバーの良型が次々と竿を絞り、40センチの大型も交じった。木内遥斗（はると）くんは電動リールの楽チン釣りに納得がいかない。「楽だけど、大型がグングン引くから手巻きのほうが楽しい」。まさに“ベテラン釣り師”並みのコメント。途中から一生懸命に手巻きで釣り上げた。

帰港後、三石さんがアジのさばき方教室を開催した。自分たちで釣ったアジで、家族だんらんの夕食が目につかぶ。電動リールと大アジ。参加者の胸に強烈な印象を残した教室となった。

- ☆ リール操作などどんどん上手に インストラクター・三石忍さんの話
「型のいいアジがたくさん釣れましたね。参加者ののにこやかな顔を見て、私もうれしくなりました。レッスンは電動リールの使い方と、タナ取りやコマセワークを中心にしました。特に子供たちはのみ込みが早く、リールの操作や釣り方がどんどんうまくなりました」
- ☆ 大型が多く釣れ全員が楽しめた 岩崎直一船長の話 「出鼻をくじかれたけど、中盤からは風と速い潮の流れも収まった。参加者全員がアジ釣りを楽しめたと思う。大型がたくさん釣れてよかった。今後はアジだけでなく、いろいろな釣りを楽しんでもほしいですね」

◎楽しい！！大満足 参加者の声

- ◆岸ヤス子さん 「親子3代で参加しました。大型が掛かったと思ったら、なんと43センチのマトウダイだった」
- ◆清水はなよちゃん 「ぜんぜん船酔いしなかった。餌付けとコマセ詰め、仕掛けの投入もひとりでしたよ」
- ◆鈴木美咲さん 「カワハギ釣りはしたけど、アジ釣りは初めて。夕食のおかずをゲットできてよかった」
- ◆鈴木雅博さん 「友人の家族と一緒に参加しました。娘と釣りを楽しむ良い機会になりましたよ」
- ◆西野耀一くん 「電動リールで釣りをしたかった。オマツリで時間をロスしてもったいなかったな」
- ◆藤浦恵子さん 「息子が釣ってばかり……。私は午後4時過ぎに最初の1尾が釣れ、すぐに一荷がきました」

第99回釣り教室参加者 『萬栄丸』		
木内 崇之さん(42) 千乃さん(12) 遥斗くん(10)	岸 治郎さん(45) 龍空海くん(9) 風海椰くん(7) ヤス子さん(72)	芝崎 勇さん(63) 尾形 真知さん(8)
清水 誠一さん(45) はなよさん(8)	鈴木 明さん(49) 美咲さん(20)	鈴木 雅博さん(41) 風香さん(12)
西野 遥さん(53) 幾子さん(52) 耀一くん(14)	廣間 義則さん(44) かおりさん(42) 心乃ちゃん(6)	藤浦 恵子さん(50) 海翔くん(10)

【主 催】 サンスポ推薦船宿会

【特別協力】 サンケイスポーツ

【協 賛】 マルキュー（特鮮海づりイソメ23袋）、ハヤブサ（仕掛け23組）、
（有）いわせ（インストラクター1人）、シマノ（オリジナルポーチ23個）、
（株）モン・スイユ（ミニホイッスル23個）